

令和7年度 会派議員派遣報告書

会 派 名	創志会
議 員 名	陶 範昭、伊藤勝也、岡 富雄、杉谷辰次、村上真以
議員派遣先名	地方議員研究会（地域公共交通セミナー） 衆議院議員会館（農林水産省要望活動）

派遣費用

科 目	支出額	摘 要
研修・研究費	321,350	旅費、宿泊費、手当
研修・研究費	150,000	セミナー受講料
研修・研究費	495	振込料
合 計		471,845

1 三原市での課題と派遣の目的（本市の現状と課題を明確に）

本市における有効な地域公共交通構築のため、地域公共交通セミナーに参加する。
農業に対する政策の研究を行うとともに、要望活動を農林水産省に行う。

2 実施概要 （1カ所目）

実 施 日 時	派 遣 先	リファレンス西新宿大京ビル 2階
令和7年8月4日 13:30～16:00 令和7年8月5日 10:00～12:30	担 当 部 局	地方議員研究会セミナー事務局 講師 井原雄人
報 告 内 容 ・ 所 感	交通空白と地域公共交通の役割 ・地域公共交通は利用者が増していた時代から、自動車の普及で利用者が減り始めた。自治体・事業者・地域が一体となり公共交通の活性化・再生に取り組む。 ・活性化再生法から地域交通法の改正、社会資本整備総合交付金による支援、単独の行政府ではなく、通勤通学や生活のための移動手段や、交通空白地域・山間部・郊外部・中心市街地を合わせた交通サービスの組み合わせ、PDCAを計画にどう当てはめるかが重要。	

報告内容・所感	ライドシェアと自動運転の基礎と課題 ・日本版ライドシェア（自家用車活用事業） タクシー事業者が運行主体 ・自家用有償旅客運送（公共ライドシェア） 市町村、自治会、NPO 等が運行主体 ・交通空白解消緊急対策事業 交通空白解消官民連携プラットフォーム参加しているなどの補助要件がある（補助率 500 万円までの定額等） ・自動運転は 100%安全確保に向けて、実証実験の段階にある
市政に活かせること（まとめ）	・市においては、地域公共交通網形成計画から、令和 7 年から令和 11 年まで地域公共交通計画を策定している。すべての人が必要な場所に移動できるまちになるようにしていく必要がある。 ・ライドシェアについては それぞれの地域に何が必要か、どのような方法があるかを、三原市地域公共交通活性化協議会等で利便性の高い方法を検討し、実現を目指す。

※ 施設先の写真・資料等を必ず添付すること。

2 実施概要 （2カ所目）

実施日時	派遣先	農林水産省
令和7年8月6日 10:00～12:30	担当部局	農林振興局 農林政策部地域振興会
報告内容・所感	農林水産省への質問及び要望 ・ 中山間地域農業整備事業 ・ 中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払い交付金の事務費の拡充等 ・ 米の買い入れ価格、販売価格の安定化 ・ 農業担い手、新規就農者確保 ・ 集落法人の統合や連携 以上の質問及び要望を行った。 農業競争力強化農地整備事業・中山間地域農業農村総合整備事業の予算化について以下の説明を受けた。 ・ 中山間地域等直接支払交付金の増額 3億円から9億円に増額 ・ 新規就農施設拡充 親元就農支援・新規就農者の誘致環境整備 ・ 集落営農連携促進等事業の活用 集落営農の連携合併による、効率的な生産、販売体制の確立等の支援 集落営農法人の合併の実例	
市政に活かせること（まとめ）	・ 直接農林水産省を訪れて、農地の整備事業の新規事業や拡充事業された事業等の説明を受け、県との連携の重要性を強く感じた。 ・ 高齢化が進み、現在耕作している農地や保全されている農地には、政策の対象になっていない農地があり、今後、支援の必要性がある。	

※ 施設先の写真・資料等を必ず添付すること。